

依存問題PT

12月10日
本部会議室
出席委員7人

依存DVD版を試写、検討 「自己申告プログラム」導入始まる

遊技産業活性化委員会の「依存（のめり込み）問題ワーキンググループ」を兼ねているので、全日遊連、日電協、全商協、回胴遊商からオプザバーとして7人が出席した。

自己申告プログラムについて、行政当局から「ポスターだけではわかりにくい面もあるのでは」との指摘を受けたこともあって、ホールに置けるリーフレット（写真）を制作した。ホールにダウンロードしてもらい利用してもらうことになった。自己申告プログラムの運用については、委員から「現場では理

解が行き届かない」面があるとの声があったが、12月中旬に東京ピアーグループ7店舗で順次導入が開始されたので、それを参考に取り組みを強める。

ホールへの導入のテキストになる「自己申告プログラム導入のご案内（改訂版）」と「リーフレット」が12月中旬、日遊協のホームページにアップされ、各団体にダウンロード用が配布された。

「依存（のめり込み）問題対応ガイドライン」を従業員にPRするためのDVD版が出来上がり、その内容が検討された。第一部は、西村直之リカバリーサポーター・ネットワーク（RSN）代表理事、安藤

のお客様対応のサンプル映像で構成されている。
試写を見た委員などから、具体的な注文が出され、制作会社と早急に調整し、年内完成のメドを立てることになった。

遊技機委員会

12月15日
本部会議室
出席委員等17人

運営面の進捗を確認 来年4月の「ニコ超」出展

来年4月の「ニコ超」出展

「ニコニコ超会議2016」（4月29、30日、千葉・幕張メッセ）に出展する日遊協ブース「パチンコ&パチスロフェスタ2016」について、会場での運営スタッフ、ロゴ案等の進捗状況を確認した。

日工組の複数メーカーが開発中の「ちよいパチ」について、遊技機のスペック、展開スケジュール等の動きが報告された。「ちよいパチ」は、気軽にパチンコができる環境をファンに提供するという企画主旨で、4円パチンコの新たな市場開拓をコンセプトにしている。日遊協では「パチンコ&パチスロフェスタ2016」に展示するなど、普及に向けての支援を計画している。

風営法PT

12月21日
本部会議室
出席委員等11人

「遊技くぎ」で情報共有

最近の業界に関わる諸課題についての情報を共有した。とくに喫緊の課題となっている「検定機と性能が異なる可能性があるぱちんこ遊技機」、いわゆる「遊技くぎ問題」に関して、今後の展開を考えながら対応を話し合った。

JANUARY

5日（火）	13:30~14:30	広報誌編集会議（本部）
8日（金）	15:30~17:30	人材育成委員会（本部）
14日（木）	11:00~12:00	支部運営会議（グランドアーク半蔵門）
	13:30~16:00	理事会（グランドアーク半蔵門）
	15:00~16:00	社会貢献・環境対策委員会（グランドアーク半蔵門）
	16:30~17:30	臨時社員総会（グランドアーク半蔵門）
	18:00~20:00	新年祝賀会（グランドアーク半蔵門）
15日（金）	10:00~17:10	取扱主任者 新規講習（ベルサール神田）
19日（火）	13:00~15:00	中部支部 健全化勉強会（名古屋ガーデンパレス）
	13:30~14:30	不正対策室会議（本部）
	15:30~17:30	遊技機委員会（本部）
21日（木）	10:00~17:10	取扱主任者 新規講習（ベルサール神田）
22日（金）	10:00~16:50	取扱主任者 更新講習（ベルサール神田）
26日（火）	17:45~19:15	パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会（第一ホテル東京）
27日（水）	15:00~17:00	風営法PT（本部）
28日（木）	16:00~17:20	中国・四国支部 健全化勉強会（メルパルク広島）
29日（金）	15:30~17:00	九州支部健全化勉強会（福岡県遊技会館）

1月の行事予定



のめり込みを抑制したいお客様をサポートします！

自己申告プログラム ご利用案内

◆パチンコ・パチスロを適度に楽しみたいお客様
◆のめり込みを抑制したいお客様

自己申告プログラムは依存（のめり込み）問題に悩むお客様のお手助けをする仕組みです。お客様の日に使用する上限金額を決めていただき、その金額を超えた際に店舗スタッフがお知らせするものです。（スタッフは「お知らせ」までサポートしますが、その後の選択につきましてはお客様に決めていただきます）

申込み方法

- ① 届き付けの申込み用紙に上限金額を記入
- ② 本人確認ができるものご持参をカウンターに
- ③ 顔写真を撮影しご登録ください（もくまいません）

人材育成委員会

12月11日
本部会議室
出席委員等9人

資料入りバッグを配布「合同説明会」

(株)リクルートの「SUPERSTAR」(3月1日、千葉・幕張メッセ)に日遊協として出展するパチンコ業界の合同説明会ブースの進捗状況を検討した。会員企業の「先輩社員」講演は1回30〜40分を10数回行い、従来通り協賛企業パンフレットの設置と協賛企業広告の投影、パチンコ、パチスロの展示等を予定している。さらに新しい試みとして資料入りバッグを配布する。資料の中心は業界についての考え方、現状、協賛企業の採用案内等が考えられている。

協賛企業を募集

これらに基づき協賛企業を募集している。協賛金は17万円(税込)で、日遊協に連絡すれば申込書がFAX送信される。資料制作の関係で、協賛申し込みは1月15日ごろまでをメドとしている。協賛のメリットは、前記の資料入りバッグやパンフレット設置等のほか、リクナビページ内の業界特設サイ



合同説明会の進捗状況を検討した人材育成委員会

ト(日遊協作成)上で社名およびロゴ、コメントを上位掲載し、また、個社で活用可能な業界理解促進ページをQRコードで提供する。

今回の対象は2017年卒業予定の新規学卒者(現在の大学3年生)で、主催のリクルートは来場学生数を2万5000人(前回実績2万261人)と見込んでいる。日遊協ブースでは600人(同251人)の動員を想定している。

女性活躍推進フォーラムの今年度第3回開催(2月10日)に向けて、各グループの進展状況等を確認した。

広報調査委員会

12月22日
彩蔵池袋店
出席委員等7人

分析報告書を提出
ファンアンケート調査

パチンコ・パチスロ・ファンアンケート調査の分析報告書(サマリ)が提出され、調査を担当した(株)インテージが概要を説明した。調査は昨年10月中旬から11月上旬にかけて日遊協加盟企業のホール及



ファンアンケート調査の報告書を検討した広報調査委員会

び都遊協、九遊連青年部の協力による加盟ホールのそれぞれ来店客を対象に行われた。今回の協力ホールは136ホール、回収された有効サンプル数は2205人だった。報告書はこの後さらに分析、検討が加えられ、今月14日の第5回定例理事会で報告される。

新台設置と部品交換ルール

関係6団体で質疑応答

流通の健全化に向けた新台設置・部品交換の制度化で、関係6団体(全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商)の会議が12月21日、東京・市谷の遊技会館で開かれ、新設される「製造業者遊技機流通健全化要綱」「遊技機製造業の業務委託に関する規程」等について質疑応答が行われた。

「要綱」「規程」の新設と、遊技機取扱主任者に関する規程の一部改正などその他の関連規定を含めた体系全体については、さる11月30日の6団体代表者会議で大筋で合意されている。「要綱」「規程」は1月末に公布され、周知期間を置いて4月1日付けで施行される方向となっている。

セキュリティ対策部会 東京都・関東支部

「監査」の重要性学ぶ 鈴木成太郎氏講演など

東京都・関東支部セキュリティ対策部会が12月9日、本部会議室で開かれ、担当の中村泰仁副支部長以下41人が参加した。

(株)ワークスの鈴木成太郎代表取締役社長が「セキュリティ活動における監査としての取り組み」と題して講演し、「会社や店舗でのゴト関連事例について、第三者機関によるセキュリティ対策の重要性」を説いた。質疑応答、デモスカッションを通して参加者の理解を深めた。千歳観光の須田良夫部長が「社内におけるセキュリティ

に第1回を開催する本を決め、デモスカッションの充実を図ることを確認した。

中古機流通協議会

日電協から2社脱退

中古機移動の対応確認

第97回中古機流通協議会（委員長・伊坂重憲全日遊連副理事長、全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商で構成）が12月9日、東京・東上野の全商協会議室で開かれた。

日電協から2組合員の組合脱退が報告された。1つは(株)S N K プレイモアで、パチスロ事業から撤退し、来年3月31日付で日電協を脱退する。中古機移動に関しては来年3月31日までは可能で、それ以降は同社の対応次第としている。また、同社は部品交換については2017年3月まで対応するという。

もう1つは(株)ジェイピーエスで、廃業により12月7日付で日電協を法定脱退した。

10、11月の中古用と認定用の確認

証紙発給状況が報告された。全商協関係の中古用稼働実績は、10月が5万7142件、10万2383台、販売対チェーン店移動の比率49%対51%、11月が4万9676件、9万870台。

認定申請は10月が3611件、1万4028台、確認証紙発行数1万4088枚だった。11月は4193件、1万5751台、確認証紙発行数1万5847枚だった。

一方、回胴遊商関係の中古用稼働実績は、10月が2万6206件、4万4452台、販売対チェーン店移動の比率45%対55%、11月が2万5529件、4万3629台。

認定申請は10月が499件、765台、確認証紙発行数875枚だった。11月は916件、4639台、確認証紙発行数2万458枚。



中古機流通協議会（委員長・伊坂重憲全日遊連副理事長）は12月16日、廃業により日電協を法定脱退した(株)ジェイピーエス製回胴式遊技機の中古機流通の取扱いについて、「中古機流通健全化要綱」に基づき従来通りの中古機流通を行うことを委員団体に通知した。

移動設置後は営業所の管理者が

責任を持って当該遊技機の保守・管理に努め、部品交換が必要な故障等が発生した場合は、速やかに撤去することになる。検定の有効期限後は保証することはできないので、認定申請は受け付けない。

PSIO・不正対策室会議

687件の情報件入力

不正対策室会議（室長・伊東慎吾日遊協常務理事）は12月17日、日遊協本部会議室で委員ら12人が出席して開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力状況の報告を行い、ゴト・不正情報について協議した。

2015年11月のPSIOオーブンネット（業界及び一般ファンからの不正情報）は687件。業界から49件、一般ファンから638件の入力があり、2014年11月と比較すると24件減（2014年11月711件）となった。

入力情報で、お客さまの誤解に基づくものが見られるが、ホールの説明不足があるのではないか。特に、遊技機そのものの動きやルールについては日常的に十分な情報提供が必要との意見があった。



今年活動を確保 支部総会は6月9日に

東京都・関東支部役員会議が12月18日、東京・汐留のエアーズで開かれ、今年の行事予定等を確認した。

今年の主な行事予定は、3月下旬、7月下旬、11月下旬に計3回のセキュリティ部会、5月13、14日に宮城県東松島市筒場山(どうばやま)国有林で「日遊協共生の森 東松島」の植林、6月9日に支部総会(日遊協総会と同日開催)、7月上旬に救命講習会、9月下旬に皇居勤労奉仕活動、10月下旬にチャリティゴルフコンペ、ほかに5回の定例役員会となっている。

北海道支部役員会 「遊技くぎ問題」で報告

日遊協北海道支部は12月9日、札幌市の正業プロジェクトで支部役員連絡会議を開き、美山正広支部長以下7人が出席した。

美山支部長が「遊技くぎ問題」について「この問題は切迫した危機感を感じる。お客様を欺して営利に励んでいると言われかねない。日遊協はすみやかに対処する方針だ。

厳しい状況が続くと思われるが、健全化へしっかり進んでいきたい」と報告した。

九州支部役員会 プレス懇談会など協議

日遊協九州支部は11月20日、福岡市の遊技会館で役員会を開き、樋口益次郎支部長以下15人が出席した。

第2回プレス懇談会など12月の支部活動、2016年度支部総会などについて協議し、本部委員会のファンアンケート調査、ベトナム視察などの報告が行われた

中部支部 磁石、電磁波ゴトなど 「セキュリティ対策部会」

日遊協中部支部は11月24日、名古屋市のアイリス愛知で「セキュリティ対策部会・研修会」を開き、山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長ら25人、中部遊商からは谷野博セキュリティ対策委員長以下26人が出席した。

パチンコでは磁石ゴト、パチスロでは電磁波ゴトを中心に報告され、対策が検討された。

研修会では茂木欣人風営法PTリーダーが「今の遊技産業の課題とこれからの課題に

ついて」と題して講演した。

「月刊レジャー情報」廃刊

株式会社レジャー情報新聞社(鈴木仁代表取締役)は、「月刊レジャー情報」を12月20日発行の2016年1月号を最終号に廃刊した。

同社は1982年創業、パチンコ・パチスロ業界専門誌として「ザ・パチンコ」「ザ・タイム」「月刊パチスロ」等を経て、「月刊レジャー情報」を発行していた。他の出版物、今後の活動については未定となっている。

会員・業界消息

● 代表者変更

▼株式会社デジタルハーツ
代表取締役社長・山本純
11月1日

▼株式会社日東
代表取締役社長・名畑陽一
12月

● FAX番号変更

▼有限会社アフティ中部
FAX052・709・5171
11月5日

DATA SPOT

延々と続く「ジリ貧」傾向

全日遊連は12月16日、店舗数、遊技機台数の2015年11月分を発表した。店舗数は前月10月(1万342店舗)と比較して15店減っている。1万327の店舗数は年間ペースだと昨年11月(1万659店)と比較して、この1年間で332店舗マイナスとなり、300店舗以上の減少が7か月連続となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス3万9655台(昨年11月269万2102台)となり、一方パチスロ機はプラス1万3678台(昨年11月149万3990台)上回っている。合わせた遊技機台数はマイナス2万5977となる。ジリ貧傾向が延々と続いている。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	10,638	13	33	135 (20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486
2月	10,613	9	39	129 (9)	2,690,969	1,504,884	156	4,196,009
3月	10,571	5	51	125 (12)	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209
4月	10,558	23	51	115 (11)	2,690,056	1,509,613	156	4,199,825
5月	10,480	3	78	104 (36)	2,672,875	1,501,585	156	4,174,616
6月	10,423	5	61	126 (24)	2,662,696	1,498,686	252	4,161,634
7月	10,407	7	40	112 (11)	2,660,478	1,499,430	156	4,160,064
8月	10,400	16	25	114 (14)	2,660,770	1,503,216	156	4,164,142
9月	10,365	10	40	120 (10)	2,656,093	1,504,472	156	4,160,721
10月	10,342	12	28	126 (16)	2,652,510	1,505,000	156	4,157,666
11月	10,327	12	33	121 (13)	2,652,447	1,504,668	156	4,160,271

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	279	+2
東北	606	-1
東京	630	+2
関東	1815	+6
中部	605	+5
近畿	1018	+2
中国	356	-1
四国	185	+1
九州	709	-1
全国計	6202	+15

(2015年11月30日現在)